

ふれあい人権フェスタ2014に参加して

○ふれあい人権フェスタ2014
(昨年11月15日ビッグホエールにて
開催)に参加して

ビッグホエール、屋内ステージでは、支援学校の生徒や障害がある子の保護者の会などの和太鼓演奏やダンス、バンド演奏などが行われていました。

フロアでは、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人などのさまざまな人権に関わる100以上の団体が、趣向を凝らした催しや展示を行っていました。また、屋外テントでは、NPOや作業所などの団体が物品販売、模擬店なども行っていました。

この人権フェスタに初めて参加して、今まであまり知る機会のなかったさまざまな活動を覗き見ることができました。私自身、身のまわりにあるさまざまな人権問題に対して、ある程度理解を深めることができたと思います。

ステージで、有田川町という声が聞こえてきました。目を向けると「人権(こころ)の詩(うた)」の知事賞の表彰式が行われていました。有

田川町立金屋中学校の榎本真子さんの「めがねをかけると、見たくないものはつきり見えて外したくなるけれど、しつかりと見なきゃいけない物事もあると気づき、心のめがねは絶体にはずさない」と誓った作品「めがね」の朗読に感動しました。

理事 水野 哲男

○「りいぶるフェスタ2014」(昨年11月15日にビッグホエールで開催)において、プロボクサーである真道ゴーさんの講演(演題:「自分らしく生きる」カラダとココロは違ってゆく)を聞いた何人かの委員の感想文を紹介します。

真道ゴーさんはプロボクサーとして活躍する一方、自分と同じような悩み、苦しみを抱えている方たちの

相談や支えの活動をしていられることに感心しました。

会長 森本 奉子

性同一障害当事者の方から、心の葛藤や今後の人生観など具体的な話を聞き、性的少数者の方々に対する理解が今までより進んだと思います。

副会長 栗山 高明

性同一障害という、人には理解してもらいにくい障害を自らの個性、特性として、いろんな事と常に葛藤しながら、自分らしく生きてきた姿にとっても感動し、大いなる元気をもらいました。

理事 佐々木 信彦

トーク&コンサートのお知らせ

夢咲きほこれ〜未来のために、今動きだそう〜

南(ばい)ぬ風人(かじびとう)まーちゃんバンド

●と き / 3月7日(土) 13時30分

●と ころ / 清水文化センター

大地と心に木を植え、希望を伝える三味線アーティスト。

「唄って踊って平和をつかめ」を合言葉に、まーちゃんバンドを率い、世界中でライブやお祭りを展開。『風人(かじびとう)』自然と共に生きる人』をコンセプトに、西表島からのメッセージと、生きる希望を伝えている。



お知らせ

2月19日(木)に人権擁護委員相談所を開設いたします。

●場所 二川住民センター

●時間 13時から16時まで

※相談は無料で、秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

■人権に関するお問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課

TEL 52121111

FAX 3214827